

ALL LIVING
BEINGS ARE CREATED EQUAL

徳洲新聞

TOKUSHUKAI MEDICAL GROUP NEWS

発行：一般社団法人徳洲会
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-1-1 麹町311ビル8階
TEL:03-3262-3133
制作：一般社団法人徳洲会 編集室
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-1-1 麹町311ビル8階
TEL:03-6272-3687 FAX:03-3263-8125
Email:news@tokushukai.jp

徳洲会グループ ダヴィンチ症例数 (2016年10月末時点)

病院名	導入時期	累計
宇治徳洲会病院(京都府)	2011年8月	107
名古屋徳洲会総合病院	2012年1月	262
松原徳洲会病院(大阪府)	2012年3月	106
湘南藤沢徳洲会病院(神奈川県)	2012年5月	322
湘南鎌倉総合病院(神奈川県)	2012年6月	94
鎌ヶ谷総合病院(千葉県)	2012年7月	280
中部徳洲会病院(沖縄県)	2012年8月	192
岸和田徳洲会病院(大阪府)	2013年2月	130
野崎徳洲会病院(大阪府)	2013年4月	101
千葉徳洲会病院	2013年7月	10
吹田徳洲会病院(大阪府)	2015年5月	28
生駒市立病院(奈良県)	2015年5月	11
東京西徳洲会病院	2015年6月	19
成田富里徳洲会病院(千葉県)※	2016年2月	15
千葉西総合病院	2016年3月	22
全施設合計		1,699

※ 湘南鎌倉病院内の装置を成田富里病院内に移設

徳洲会グループ ダヴィンチ1700症例に ロボット支援手術懇話会を開催

徳洲会グループは11月20日、大阪市内で第5回ロボット支援手術懇話会を開催した。内視鏡下手術支援ロボット・ダヴィンチの導入病院を中心に、今回は過去最多の13病院・22人の泌尿器科医が参加。学術集会や情報交換、技術交流などを通じて、グループ全体のダヴィンチ手術の治療成績向上などを目指している。10月末までにダヴィンチ手術の件数はグループ累計で1699件に達している。

グループ全体で14台導入



「ロボット支援手術は今後、泌尿器科から婦人科や外科領域に必ず広がっていきます」と安富相、副理事長

低侵襲な内視鏡手術をより高精度に実施でき、患者さんの身体的負担の軽減に寄与することから、徳洲会グループはダヴィンチの導入を推進。国内に約250台あるなか、現在14台を導入している(表)。ダヴィンチ手術で保険適用が認められているのは、前立腺がんと小径腎がんに対する手術。泌尿器科領域にとどまることが現状だ。懇話会の発起人である副院長が病院別の症例数を発表。まず

をはじめグループ全体の状況などを紹介し、今後、症例データを集計し学術的な検討を加えるなど活用していきたい考えを表明した。また同懇話会の今後の検討テーマとして、他診療科との連携や前立腺以外の手術でのダヴィンチ使用、腎部分切除術の施設認定取得の進め方などを継続して話し合っていくことで一致した。このあと学術集会を行い、11病院が発表。まず



過去最多の参加者が集まり学術集会などを実施

し、癒着予防の工夫の大切さを強調。同院の永田和博講師は「ロボット支援前立腺全摘術の導入期待治療成績と腹部手術既往症例への対応」を発表。吹田徳洲会病院(大阪府)の真殿佳吾・泌尿器科部長は、凝固・癒着しながら切開する複数種類のシーリングデバイスについて、特徴や比較結果

リオン」という染色剤を用いた症例を報告。中部徳洲会病院(沖縄県)の大城吉則副院長(泌尿器科部長)は「切除断端陽性(RMI)率の改善をめざしたRALPの術式の工夫」をテーマに拡大剝離で取り組んだ手術結果を発表した。松原

徳洲会病院(大阪府)の西田剛・泌尿器科部長は「術前デュクステリド服用にて、周囲剝離が困難であった症例」を発表。懇話会には大阪医科大学の東治人・腎泌尿器外科教授が参加し「症例データを活用し徳洲会グループからの情報発信を期

待しています」と挨拶。現在、それぞれ一定の条件を満たす「胃がん」、「咽頭がん、下咽頭がん」は喉頭がん、「子宮頸がん」に対するダヴィンチ手術が先進医療に指定。今後、消化器や婦人科疾患などへの保険適用拡大が期待されている。

武蔵野徳洲会病院(東京都)に診療協力する帝京大学医学部附属溝口病院長の石坂和博・泌尿器科学教授は「ロボット支援前立腺全摘術と鼠径ヘルニア」をテーマに発表。鼠径ヘルニア手術を行う場合、将来的な前立腺全摘術実施の可能性に配慮